

調査結果の概要

この資料は、調査票乙及び建物調査票を用いて集計した結果から作成している。
調査票甲、調査票乙及び建物調査票を用いて集計した結果※とは、集計の対象範囲等が異なるため、比較を行う際には留意されたい。

※あいちの住宅・土地「住宅及び世帯に関する基本集計結果」「住宅の構造等に関する集計結果」

1 世帯が所有している土地の状況

現住居の敷地を所有している世帯は 47.0%
現住居の敷地以外の土地を所有している世帯は 12.4%

普通世帯（306 万 5000 世帯）のうち、土地を所有している世帯は 150 万世帯（普通世帯に占める割合 48.9%）となっており、現住居の敷地を所有している世帯は 144 万 2000 世帯（同 47.0%）となっている。

また、現住居の敷地以外の土地を所有している世帯は 38 万世帯（同 12.4%）となっており、このうち現住居の敷地以外の宅地などを所有している世帯は 28 万 1000 世帯（同 9.2%）となっている。

<表 1>

表 1 土地の所有状況別普通世帯数－愛知県（2018年）

	総数	土地を所有している			
		総数 1)	現住居の敷地を 所有している	現住居の敷地 以外の土地を 所有している	現住居の敷地 以外の宅地など を所有している
実数（世帯）	3,065,000	1,500,000	1,442,000	380,000	281,000
割合（%）	100.0	48.9	47.0	12.4	9.2

1) 複数回答であるため、内訳の合計とは必ずしも一致しない。

2 世帯が所有している現住居の敷地以外の宅地などの状況

現住居の敷地以外の宅地などの取得方法は、「相続・贈与で取得」が 67.5%

現住居の敷地以外の宅地などの所有件数について、取得方法別に割合をみると、「相続・贈与で取得」が 67.5%と最も高く、次いで「個人から購入」が 17.9%、「会社・都市再生機構（UR）などの法人から購入」が 9.1%などとなっている。

<図 1>

図 1 現住居の敷地以外の宅地などの取得方法別所有件数の割合－愛知県（2018年）

